

“和衷協同”をスローガンに掲げて



吾孺二中 ニュースレター

墨田区立吾孺第二中学校

令和6年2月5日(月)

校長 駒田 るみ子

発見の連続 戸狩スキー場の思い出



悔しさから成長していく

校長 駒田 るみ子

1月31日から2月2日の2泊3日で、2学年の移動教室、スキー教室が実施されました。宿泊行事で生徒たちは大きく成長するものですが、今回もたくさんの思い出ができました。

初日は青空が見えるほどのよい天気でした。スキー講習が始まったばかりの時は、重い、寒い、怖い、の方が楽しいよりも勝っていて、思うようにいかない辛さを感じたようでした。しかし、そんな中でもインストラクターからの励ましの声がかかったり、転んだ時に友達が手を差し伸べてくれたりしたことが、小さな喜びだったようです。宿に帰れば暖かくして待っていてくれるオーナーさんがいて、素直に嬉しさを表現できていました。

2日目は朝から雨。視界も悪く練習し辛かったです。幸い午後からは雪に変わりましたが、降り続けていたので、リフトの上ではかなり寒かったようです。それでも全班リフトに乗って時間をかけて頑張っ滑り降りて来ました。

そんな中で、とにかく怖いと思ったり足が痛かったり、自分が転ぶせいでみんなに迷惑をかけているのではないかとしたり、自分を見つめつつ、辛かったことも多い1日でした。この悪条件の日に「悔しい」という言葉が一人だけでなく複数の生徒から聞こえてきました。言い換えると、もっとうまくなりたい、友人と同じように滑りたい、こんなことで自分に負けたくない、様々な感情が渦巻いて、やがて「向上心」に変わっていました。

3日目は曇り空から少しずつ青空が見えてきました。2日目に休んでいた人も再びゲレンデへ。「やればできる」を経験した多くの生徒の口から「楽しい」という言葉が聞こえたのも3日目です。この日は周りの人々の支えにも気付けたようです。

以前この紙面で『中学生の皆さんに、「挫折しなさい」と言うことはできませんが、「何かに一生懸命打ち込みなさい」と励ますことはできます。』と書きました。「悔しい」は一生懸命に取り組んだ者だけが感じる事ができるパワフルワードですね。

今、受験で苦しく厳しい毎日を過ごしている3年生は去年のスキー教室を思い出して強い気持ちで臨みましょう。1年生は来年を楽しみにしてください。

【お知らせ】① 保護者アンケートありがとうございました。次号特集号にてご報告いたします。

② 1月16日に本校教職員一同が「文部科学大臣優秀教職員賞」を受賞しました。これは本校の人権教育に対する功績に対して贈られたものです。今後も丁寧な指導を積み重ねていきます。

AWARD-WINNING

敬称を省略させていただいています

< 吹奏楽部 >

東京都吹奏楽連盟アンサンブルコンテスト 銅賞



< テニス部 >

墨田区秋季研修大会(1年生大会) 3位 藤田 夏葵 阿部 礼明 ブロック大会出場!

< 書道部 >

全日本書道コンクール 毛筆
金賞 長沢 南
銀賞 大橋 稜人 八木 汐織

< 読書感想画コンクール >

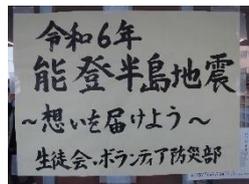
佳作 足利 りら

○救命救急講習(1年生)

1月20日(土)に向島警察署、向島消防団、東京防災救急協会の方々をお招きし、救命救急講習会を行いました。AEDの使い方をはじめ、救急時の対処法についての基礎を学びました。



新年元旦の能登半島地震をうけて、募金活動が行われました。ボランティア防災部を中心に生徒会とも協力して行い、2日間で56,370円集まりました。「気づき、考え、行動する」吾嬢二中生は素晴らしい!



校内書き初め展

校内書き初め展の様子です。力強い作品がそろっていました!



※募金活動の様子は、区公式 YouTube チャンネル「まちかど放送局」で配信予定です